

Frascole

フラスコレ



国・地域 : Italia, Toscana イタリア、トスカーナ
地区、村 : Chianti Rufina キアンティ・ルフィナ
醸造・栽培責任者 : Enrico & Cosimo Lippi エンリコ & コジモ・リッピ
HP / SNS : <https://frascole.it/>
: <https://www.instagram.com/frascole/>

ワイナリーと造り手について

フラスコレは、フィレンツェ近郊のキアンティ・ルフィナ地区に広がる、総面積 80ha の農園である。ブドウ畑のほか、オリーブ園、森に囲まれた丘陵地に位置し、中世にさかのぼる建物群をセラーや民宿として活用し、敷地内からはローマ時代やエトルリア時代の遺構も数多く出土し、この土地が古くから人の営みとともにあったことがうかがえる。

1992 年に荒廃していたワイナリーをエンリコ・リッピと妻エリザ・サントーニが購入し、畑と建物のリノベーションをしながらワインを作り始める。またトスカーナを拠点とする著名なエノロゴ、フェ



デリコ・スタデリーニ（※）をワイナリー創立の 1992 年から登用するのだが、そのきっかけをつくったのはエリザの功績であり、フェデリコとともにワイン造りを積極的に推し進めてきた。彼女なくして、現在のフラスコレはなかったといっても過言ではない。

2022 年からは息子のコジモ・リッピがフィレンツェ大学とブルゴーニュ・ディジョンで栽培・醸造学を修めた後に参画。現在は親子二代体制でワイナリーを運営する。

※フェデリコ・スタデリーニについて

初期のオルネライアにてエノロゴとして活躍。その後ポッジョ・ディ・ソットではジュリオ・ガンベッリの薫陶を受け、現在はポッジョ・ディ・ソット、カステル・イン・ヴィッラなどのワイナリーでコンサルタントとして手腕を発揮している。自身が所有するワイナリーでは魅力あるピノ・ネーロ酒を仕上げ、コンサルタントとしても、ワインメーカーとしても、人々を魅了するワインを生み出す。フラスコレでは、コンクリートタンクの重要性をワイナリー創立時から説き、ワイナリーはできるだけ多くのコンクリートタンクを集め、現在の醸造に活かされている。

畑と栽培について

所有畑は概ね標高 300～500m に広がり、アペニン山脈の西側の丘陵地であるこの地には、山からの冷たい空気が夜間に流れ込む。そのためより南方に広がるキアンティ・クラッシコ地区などに比べると昼夜の寒暖差はより大きくなり、果実は酸を保ちやすく、引き締まった味わいのワインを生む要因となっている。

土壌は岩の多い粘土およびマルヌで構成されている。1999 年にはバイオロジック認証を取得し、自生する植物を排除せず、豊かな生態系が保たれるよう努めている。収穫は近年でも通常 9 月末から 10 月にかけて行われている。



セラーと醸造について

ブドウはすべて手作業で収穫され、コンクリートタンクにて3～4週間のマセレーションを経て発酵される。抽出はルモンタージュやピジャージュで行い、発酵後は長期間澱と接触させることで、ワインに厚みと丸みを与えることが肝要とされる。

熟成容器はワインのスタイルに応じて使い分けられる。

- ・白ワイン「イン・アルビス」はコンクリートタンクで2年間熟成。
- ・キアンティ・ルフィナはコンクリートおよび木樽で1年半～2年熟成。
- ・リゼルヴァは木樽で2年半～3年間熟成。
- ・赤トップキュヴェ「ヴィーニャ・アッラ・ステレ」は木樽で最大4年間熟成。
- ・甘口ワイン「ヴィンサント」は、9年間の樽熟成。



キアンティ・ルフィナ新カテゴリー：テッラエレクトテ *Terraelectae* について

キアンティ・ルフィナは、キアンティ・クラッシコの陰に隠れて目立たないサブ・リージョンであり続けてきた。そのような状況を打破するため、キアンティ・ルフィナ協会は品質ピラミッドの頂点に位置する「テッラエレクトテ」というカテゴリーを創生した。主な規定は以下の通り。

- ・ キアンティ・ルフィナ DOCG の生産ゾーン内で造られたワインであること
- ・ サンジョヴェーゼ 100% であること
- ・ Vigna か Vigneto の記載がラベルにあること（つまり単一区画のキュヴェ）
- ・ リゼルヴァであること
- ・ 1ha 当たり 7,000kg/ha 以下の収量であること
- ・ アルコール度数が 12.5% 以上であること
- ・ 少なくとも 30 ヶ月熟成で、18 ヶ月は木樽、6 ヶ月は瓶内熟成していること

これらの規定に加えて、ルフィナの生産者による試飲が行われキャラクターと品質を備えると認められることが「テッラエレクトテ」を名乗るために必要となる。2025 年 8 月現在、キアンティ・ルフィナを造るワイナリーは 22 社、その内 20 社が協会に加盟し、その内 12 社が「テッラエレクトテ」を造ることが認められている。